

2019年10月号 / No.225 / 令和元年10月8日発行



# 野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



今年秋の渡りの主役？ カラフトアオアシシギ (東よか干潟 / 撮影：加藤芳隆さん)

## 野鳥さが225号 主な内容

- 役員会報告-----2ページ
- 各地の観察会報告-----3ページ
- 皆さんからのおたより-----5ページ
- 有明海の満潮時刻-----8ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報 -----9ページ
- 近隣地区の観察会情報-----10ページ
- 観察会会場までの案内-----11ページ
- 観察会などのお知らせ（2019年10月～12月）-----12ページ



## 役員会報告

(事務局: 島田洋)

【日 時】2019年8月14日 & 9月1日

【出席者】8/14: 8名 9/1: 12名

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがありません)

### (1) 「サントリー世界愛鳥基金」の助成申請について

- ① サントリー世界愛鳥基金は人と野鳥の共存生態系の保護・再生を目指す基金で、3部門がある。(「水辺の大型鳥類部門」「地域愛鳥活動助成部門」「鳥類保護団体への活動助成部門」)
- ② 助成を受けるためには、事業計画書などの書類を提出し審査を受ける事となる。
- ③ このうち、「鳥類保護団体への活動助成部門」に助成を申請する。
- ④ 活動内容は、佐賀市が東よか干潟の設置を予定している拠点施設の一角にコアジサシが産卵できそうな土地を整備したい。
- ⑤ 市役所と相談して整備費用の見積もりを作成していく。
- ⑥ 9月30日までに申請書類を提出し。審査を受ける。

### (2) 大雨・油流出関連について

- ① 8月27日~28日にかけて佐賀県地方は大雨被害を受けた。
- ② 大町の佐賀鉄工所からは大量の油が流出した。
- ③ 河川から有明海にかけて油が流出すると野鳥にも大きな影響が出かねない。
- ④ 野鳥は羽毛に油が少量でも付着すると衰弱してしまう。
- ⑤ 油に汚れた野鳥の洗浄には、洗剤「ジョイ」がいい。ジョイの改良型もあるらしい。
- ⑥ 財団本部や環境省からは情報・アドバイスがあった。協力はおしまないとのこと  
※大雨被害者の会費・・・家が住めないくらいの被害を受けた会員については、会費免除の手続きをする。

### (3) 探鳥会リーダーズフォーラムについて

- ① 日時 2020年2月8~9日
- ② 会場 福井県中小企業産業大学校(福井市)
- ③ 定員40名 参加費 10000~12000円程度
- ④ 10月から受け付け開始。募集要項は改めて案内予定



(6) その他、カラス調査、今後の観察会等について協議した。





## 各地の観察会報告



### ■ツバメのねぐら入り観察会報告（佐賀市）

①【日 時】 2019年8月25日

【参加者】13名（案内役）永島博

【案内役より】

雨にもかかわらず、熊本や福岡からのご参加ありがとうございました。13名での観察会となりました。 昼過ぎから降り始めた雨が心配でしたが、晴れ男晴れ女がいるので、観察会が始まる直前に止み、晴れ間も見え始めました。

18時過ぎに現地に入ります。もうすでに、ツバメがちらほら。徐々に集まり始めます。日没時間は18時55分。誰かが指揮を執ったかのように一斉に集まります。湧いて出てきたような集まり方です。上空の群れに見惚れていれば、背後からたくさんのツバメが低空飛行で芦原へ向かいます。歓声が上がります。

気が付けば、上も下もツバメだらけです。つかのまの饗宴です。

やがて一斉にねぐらへ入ります。いままでの賑わいが嘘のように静まり返ります。

19時15分。余韻を残して解散です。ところで今回は雨模様の為、星空観測はまたの機会に。

【参加者の声】

ツバメのねぐら入り観察会に参加しました。十数名の中には福岡のご夫婦の方、熊本の方、初心者の方もおられました。夕闇が迫り、初めはスズメさん？の登場です。だんだんと後方の田んぼから、川上から、川下からツバメのショーの始まりです。上空にも無数のツバメたちが行きかって飛んでいます。周囲は、皆さんの「凄い、凄い」という歓喜の声でいっぱいでした。

約一時間のねぐら入りの演舞は終わりました。あア～よかった。（馬場清さん談）

②【日 時】 2019年9月8日

【参加者】31名（案内役）永島博

【案内役より】

今回は天気もよく、31名での観察会となりました。特に福岡県からのたくさんのご参加、本当にありがとうございました。その中で、再訪された方もあり、とても嬉しく思いました。日没時間は18時36分、大分早くなりました。

しばらくすると一斉に集まりだします。頭上を飛んで行ったり、背後から飛んで来たり、正面の夕焼けの中にたくさんのツバメが舞ったりします。すぐ目の前をこちらに向かってくるように乱舞して歓声もひととき大きく上がってました。

芦原の上にすごい数のツバメたち。そしてねぐらへ入ります。時計を見ると19時前。短い時間ではありましたが、十分楽しめたのではないのでしょうか。

星空観測は、なぜか雲ってきてしまったので今回もお預けとなりました。

また来年、ツバメはもちろんです、参加された方（一回目二回目共に）の再訪があれば、案内役として冥利につきます。

## ■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

【日 時】 2019年9月1日

【参加者】19名（案内役）田中丸雅雄、加藤芳隆

【観察された野鳥】メダイチドリ、ダイゼン、キョウジョシギ、トウネン、ハマシギ、コオバシギ、オバシギ、キリアイ、オオハシシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、カラフトアオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、オオソリハシシギ、ダイシャクシギ、ハウロクシギ、チュウシャクシギ、ダイサギ、アオサギ、チュウサギ、キジバト、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス

【案内役より】

朝から雨です。集合時刻には10名程集まり、小雨のなか開始する。  
前日、11羽観察された希少種カラフトアオアシシギを開始早々見つける。  
餌取りに忙しく動きが速い。スコープに入れるのに苦労する。  
傘を差しながらの観察でしたが、9時頃、雨が本降りとなり中止する。  
鳥合わせを紅楽庵で行い終了する。

## ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

副支部長 青柳 良子

支部報221号でお知らせした以降の入会者情報をお知らせいたします。

2月入会者 4名    4月入会者 3名    5月入会者 4名  
6月入会者 4名    8月入会者 3名

佐賀県支部の会員は現在230名です。

（221号まではお名前を紹介しておりましたが、個人情報の問題もあり、個人名はなるべく載せないように、とのことですので、これからは人数のみお知らせいたします。）

野鳥の会会員の皆様！

みなさまの周りに 花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいませんか？ 観察会などにお誘いしてみてください。

野鳥の会は 「いつでも入会OK」です。

日本野鳥の会とは

「野鳥も人も地球のなかま」を合言葉に、野鳥や自然の素晴らしさを伝えながら、自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指し、活動を続けている自然保護団体です。





## 皆さんからのおたより



### ●「この時期の鳥たち 2019 その5」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

「その4」でコウノトリは4羽の内の「未来と翔」は7/23に見たが、「ヤマトと歌」は全く見ていなかった。その後野田市のHPを見ると7/31に野田市のこのとりの里にヤマトが歌を伴って戻ってきたとの書き込みがあり安堵した。その後ヤマトは9/19現在、神奈川県らしい。歌を伴っているのかは不明。

この時期、神栖市にはコジュリンやセッカ、オオヨシキリ、コヨシキリなどの葦原の鳥が中心になりますが、私には地味すぎて周辺の鳥を見ています。隣町の千葉県香取市で昨年と同様に同じ7/30にタマシギの番いを観察撮影しました。この番い以外にも別の日にはオス2羽とオス6羽のグループも観察しました、オスが4羽の幼鳥を連れている写真を見たことがあるので6羽は兄弟かもしれません。

当地ではその他ヒクイナ、オオジシギ、エリマキシギ♀、オオバン若鳥多数、ツバメチドリ、タシギなどを観察撮影しました。稲刈りが終わった田んぼにはタシギだけが残り、留鳥であるタマシギもお引越したようです。



タマシギ



エリマキシギ♀



### ●「タイの野鳥たち」・・・八木 ひとみさん（佐賀市）

9月15日～18日に旅行会社のLCC利用格安パックツアーで初めてのタイに行きました。バンコク市内の繁華街は交通渋滞がひどいですが、活気があり近代的大都市でした。あちこちに国王様の看板があり、国民に敬愛されておられます。夕刻散策していたら、偶然パワースポットで祈祷の場面、タイ式キックボクシングムエタイのタイトルマッチを見ることができました。

バンコク市内から高速道路で90分くらいのアユタヤ遺跡でジャワハッカ、インドハッカ、シキチョウ。木ではリスがヤシの実を食べていました。バンコク市内の寺院ではインドハッカが鳴いていました。1日自由行動の日はカオヤイ国立公園のガイド付きツアーにしました。郊外の市場を見た後、田園地帯に入ると鳥がたくさんいました。ガイドさんとドライバー、主人と私だけがお客だったので、何度か車を停めてもらって撮影しました。コウノトリ?と思って後で調べたら「スキハシコウ」でした。アカガシラサギ、シラサギ、シロハラクイナ、セイタカシギ、ケリの仲間、



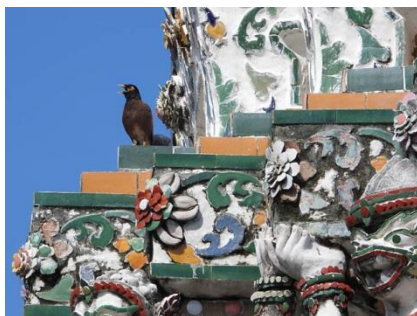
他にも小さい鳥がいますが先の予定があるため、ゆっくりみることができないのがとても残念でした。 杭に止まっていたのは「インドブッポウソウ」でした。 飛ぶと青い羽が美しかったです。 食事をした場所で「クビワムクドリ」の幼鳥を見ました。

水牛に乗ったシラサギ。 カオヤイ国立公園に入るとシカ、サルがいました。 道路で鳥が出るのを待っているバーダー4、5人を見かけました。 ここは「サイチョウ」が見れるらしいです。 象に乗り細い山道や川を移動するアトラクションがありました。

車での移動中、何度かショウビンの仲間を見かけましたが、写真を撮れずにとっても残念でした。 盛りだくさんの旅でした。 タイの人はとても優しかったです。 様子がわかったので次回は鳥見だけで行きたいと思いました。



ジャワハッカ



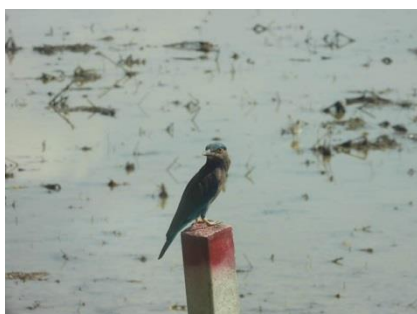
インドハッカ



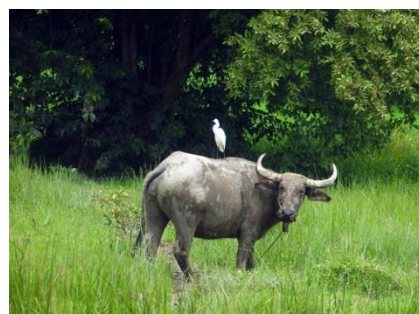
シキチョウ



スキハシコウ



インドブッポウソウ



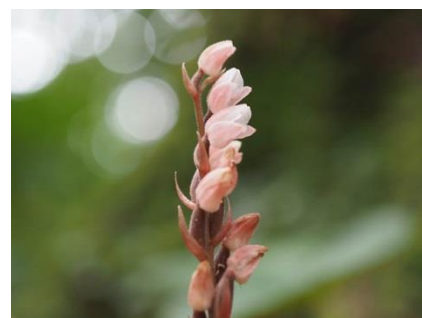
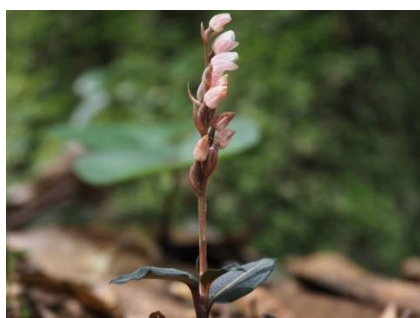
水牛に乗ったサギ

### ●「アカショウビンが初めて来てくれた」・・・小松 常光さん（唐津市）

家の近くでアカショウビンの鳴き声を聞きました。初めてのことです。 6月になって近所の人も「トンビがよく鳴いてる」と言い出しました。 高くて澄んだ「キョロロロロー」という綺麗な長い鳴き声。初めて聞く鳴き声なので「若しや」と思いネットで調べてアカショウビンと確信しました。 早速、知り合いにアカショウビンが来ていると自慢(?)したら「今年はアカショウビンがあちこちに来ている」との話。 日記を見ると6月6日に聞いたのが最初でそれからは毎日裏山で鳴き付近の山で鳴き、月の後半になると川向こうの遠くの山から聞こえるようになり、6月30日に近くではっきりと聞いたのが最後でした。姿は見えていません。 6月中旬は鳴き声を聞きながらの田植えで、なんだかとっても豊かな気分に含まれていました。

## ●「石谷山のシュスラン」・・・馬場 順一さん（鳥栖市）

9月21日からせっかく久しぶりの3連休だというのに、台風襲来。幸い初日はまだ台風もかなり離れているようなので、夜勤明け、速攻で地元の石谷山に登ってきました。目的は「シュスラン」 天気予報では午前中は曇り、午後から曇り時々雨となっています。仕事から帰り、風呂、食事、準備とあわただしく終えて8時半に出発。御手洗の滝から周りには目もくれずひたすら山頂をめざします。風が少し強いくらいで、まだ青空ものぞいています。山頂に到着して「シュスラン」を探します。葉っぱはたくさんありますが、最初は花が咲いているのは全然見つけれません。顔を地面にくっつけて探します。一つ見つけると結構あちこちにポコポコと咲いていました。山頂付近だけで1時間ほど写真を撮り、雨に会う前にまた速攻で下りました。帰ってまた風呂に入り、その後は深夜まで爆睡。野鳥の話題ではなくてすみません。(^^)



## ●「お便り」・・・橋間 みち子さん（小城市）

私が支部に入会したのは何年前だろう？ 会費を支払った記録を調べてみたが、通帳が平成19年以前のもものがなく、分からない。今年、支部設立25周年記念講演会に参加した。同じ頃の顔なじみの人は元気で、重要な役についておられた。私は入会したての頃は坂本千恵さんについて行って、いろんなイベントに参加した。野鳥座初公演、芦刈小学校での楽しかった思い出もある。坂本さんが亡くなられてからは探鳥会などにも足が遠のいた。有明漁連の役員などをしたが、野鳥のことは忘れてなく、芦刈漁協女性部で宮原支部長より話をさせていただいた。今では私が野鳥の会会員だと知って、野鳥の話をしてくれる人たちも現れた。十年前から主な海苔の仕事は息子夫婦に譲りました。私の小遣いは花売りで稼ぐようになり、ますます探鳥会に行けなくなった。畑の花も百十種と増えた。野鳥の名前、星座の名前、花の名前と覚える。頭の中の引き出しがガタガタとなっています。野鳥は姿と声で名前を覚えなくてはならず大変です。我が家の冷蔵庫のドアには野鳥の写真がベタベタと貼ってある。野鳥に関心がないと言っていた東京の次女が、野鳥の絵が一杯の大きなバッグを下げた帰郷した。私はニンマリした。今では読み終えた会報の『野鳥』を東京の二人の娘婿に送っている。夏の花火の時も、春のバルーンの上がる時もいつも野鳥の鳴き声が聞こえる。今、地球に本当に生きていると感じる。

馬場清さん、青柳良子さん、田中丸雅雄さん、日ごろの努力が報われておめでとうござ

います。 中村さやかさんの鳥のイラスト、素敵です。ぬり絵にして楽しんでいます。コピーして孫にも送りました。 イラストをスタンプにしたら子ども（大人も）も喜んで押しそうですね。



## 有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5~6m前後、午前 7 時頃からお昼頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

時刻	潮高 (m)	時刻	潮高 (m)
		11月1日 11:50	6.0
		11月2日 12:24	5.9
10月11日 7:37	5.0	11月10日 7:43	5.7
10月12日 8:12	5.3	11月11日 8:21	4.8
10月13日 8:47	5.5	11月12日 5:59	5.1
10月14日 9:22	5.6	11月13日 9:38	5.4
10月15日 9:56	5.6	11月14日 10:15	5.5
10月16日 10:29	5.5	11月15日 10:52	5.6
10月17日 11:01	5.4	11月16日 11:28	5.6
10月18日 11:32	5.2	11月17日 12:06	5.5
10月19日 12:07	4.9	11月24日 7:14	5.3
10月26日 7:34	5.4	11月25日 8:06	5.1
10月27日 8:24	5.8	11月26日 8:55	5.0
10月28日 9:11	5.9	11月27日 9:41	5.5
10月29日 9:56	5.9	11月28日 10:23	5.9
10月30日 10:37	5.8	11月29日 11:02	6.1
10月31日 11:15	5.5	11月30日 11:36	6.1

カモ類、カモメ類やクロツラヘラサギなど中心の季節となりました。 この表を利用して、ベストの時間帯にお出かけください。

※支部ホームページに詳しい潮汐表が掲載されています。

### 満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまって、鳥が移動してしまいます。)







## 皆さんからの野鳥&生きもの情報

### ■八木 ひとみさん (佐賀市)

8月4日 【荒尾海岸】アオバト



### ■加藤 芳隆さん (上峰町)

【東よか干潟・秋の渡り】カラフトアオアシシギは11羽確認されました。

カラシラサギも長く滞在、ハシブトアジサシも2週間滞在してくれました。



カラシラサギ



ハシブトアジサシ

### 県外探鳥会のご案内

#### ●熊本県 荒尾干潟水鳥・湿地センター視察&横島干拓 探鳥会

【日 時】 2019年12月1日(日)

【訪問先】 荒尾干潟水鳥・湿地センター 及び 横島干拓

【見どころ】ラムサール条約 登録湿地に開館した環境省の施設「荒尾干潟水鳥・湿地センター」の視察に行きます。視察後は「横島干拓」に鳥たちの観察に行きます。なお、センター長は元鹿島市干潟展望館のチーフで佐賀県支部の中村安弘さんです。

【集合場所・時間】佐賀市大和町の「さが水ものがたり館」午前8時00分

【担 当】 宮原 明幸さん(佐賀市)

【参 加 費】100円(保険料、資料代)、その他実費

★ 参加希望者は11月20日(水)までに宮原さんに連絡してください。

携帯：090-2507-7085

Eメール：ruriruri115@b1.bunbun.ne.jp



## 近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報  
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

### ■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：11月3日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：11月5日(火) 10:00～12:00 (定例探鳥会) **集合時間にご注意を！**

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 第5駐車場近くの音楽堂ステージ側

日時：10月12日(土)、11月9日(土) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：10月13日(日)、11月10日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：10月20日(日)、11月17日(日) 8:00～11:00 (定例探鳥会) **集合時間にご注意を！**

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：天拝山歴史自然公園水上ステージ

日時：10月27日(日)、11月24日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：久末ダムの多目的広場横の駐車場

### ■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員&高校生 100 円 一般 200 円 中学生以下無料)

日時：10月13日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市御井町・高良下宮社

日時：10月20日(日) 荒尾干潟水鳥・湿地センター (企画探鳥会)

場所：熊本県荒尾市 / 集合：荒尾市蔵満海岸(湿地センター前)：10:30

日時：10月27日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：大牟田市・黒崎公園 / 集合：9:00 黒崎公園第1公園グラウンド

※お問い合わせは各支部のHPへ 福岡支部 <http://hachikuma3.blog.fc2.com/>  
筑後支部 <http://grosbeak.blog.fc2.com/>

## mini flower gallery

(平尾台/撮影：馬場順一さん)



ノヒメユリ



キキョウ



ヒナノキンチャク

## ～野鳥さが原稿募集中～

① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

② 投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) [f\\_baba841@ybb.ne.jp](mailto:f_baba841@ybb.ne.jp)





# 観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

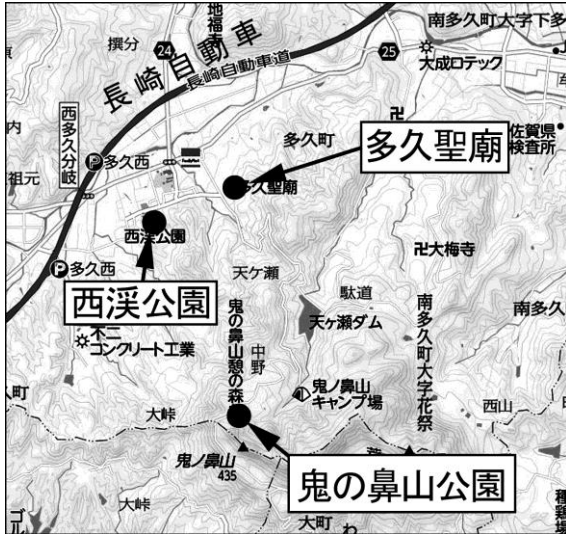
①10/13⑤11/30⑧12/15 佐賀市・東よか干潟



②10月20日 佐賀市・森林公園



③11月17日 多久市・鬼の鼻山公園



④11月24日 佐賀市・林業試験場



⑥12月1日 荒尾干潟(水ものがたり館集合)



⑦12月15日 佐賀市・巨勢川調整池





## 観察会などのご案内 (2019年10月~12月)

### ①10月13日(日)⑤11月30日(土) ⑧12月15日(日)

#### 東よか干潟(大授煽)観察会(佐賀市)

[時間&場所] (10/13)09:00 (11/30)10:00  
(12/15)10:00

佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台

[担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市)080-1707-9225  
加藤 芳隆さん(上峰町)090-4510-1560

[見どころ] 越冬のために訪れたカモ・カモメ類、クロツラヘラサギなど観察。

### ③11月17日(日)

#### 鬼の鼻山憩いの森観察会(多久市)

[時間&場所] 9:00

多久市の鬼の鼻山憩いの森駐車場

[担当]川原 直嗣さん(市)

[見どころ] 展望台のある山頂までは歩いて15分程度、360°の展望です。ウォーキング&低山の鳥たちを楽しみましょう。

### ⑥12月1日(日)

#### 荒尾干潟水鳥・湿地センター視察& 横島干拓探鳥会(熊本県)

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市)090-2507-7085

※参加希望者は宮原さんに連絡をしてください。

詳しくは9ページをご覧ください。

### ②10月20日(日)

#### 初心者のためのバードウォッチング in 森林公園(佐賀市)

[時間&場所] 09:00

佐賀市久保田町 県立森林公園・北側駐車場

[担当] 島田 洋さん(佐賀市)090-2393-1286

[見どころ] 冬鳥たちが主役になりつつある時期となります。経験豊富な野鳥の会リーダーが、野鳥の見つけ方や生態を丁寧に説明します。

### ④11月24日(日)

#### 林業試験場観察会(佐賀市)

[時間&場所] 9:00

佐賀市大和町の県林業試験場駐車場

[担当] 宮原 明幸さん(佐賀市)090-2507-7085

[見どころ] 林で越冬する「ツグミ」「キクイタダキ」を観察します。キクイタダキは日本最小の鳥の一つで、全長10cm、オリーブ緑色の、かわいい~鳥です。

### ⑦12月8日(日)

#### 巨勢川調整池観察会(佐賀市)

[時間&場所] 09:00 佐賀市金立町の

東名(ひがしみょう)遺跡「縄文館」前駐車場

[担当] 島田 洋さん(佐賀市)090-2393-1286

[見どころ] 調整池で羽を休める「カモ」や、葎原で越冬する「オオジュリン」を観察します。

※観察会のお問い合わせは、佐賀県支部 web サイト(ホームページ)の「お問い合わせ」よりメール、又は佐賀県支部携帯電話(080-1786-8452)へ連絡をして下さい。

## 共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ~日本野鳥の会佐賀県支部 会報~  
公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル  
電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636

日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸 (☎ 090-2507-7085)  
事務局：島田 洋 (☎ 090-2393-1286)  
支部 web サイト <https://www.yacho-saga.org/>